



▲ 高校生を前に、十河氏の座右の銘「有法子（為せば成る!）」について語るつださん

私利私欲ありませんし。
市長 西条市長時代も無給とかね。とても考えられないことですよね。つだ だから、ご家族もいつも大変だったと思いますが、支えていたんですよね。

現在にも続く 十河信二氏の功績

市長 この本の中で私が特に印象に残ったのは、西条学舎（現・東予学舎）など、十河さんが教育に力を入れられていたことです。つだ あれだけ私財を投入して面倒をみることは、なかなかできませんよね。

市長 東予学舎や新幹線は今も続いているし、西条市もここまで発展してきた。いろんな人とのつながりもつくって。十河さんの頑張つてやってくれたことで、今残っているものは何もないんですね。つだ 残つてますよね、ずっと。十河さんって、ハンコを部下に預けて「好きなようにやれ、責任は俺が持つ」という上司のかがみみたいな方でもありますよね。

市長 確かに、才能を持った方や専門家の能力を最大限に發揮させていくのがこの方の生き方だったと思うし、そんな底流が西条にはあるんだらうと思います。私自身もこれから教育、人材育成に力を注いで、十河さんの流れを受け継ぎ、文化・教育レベルの高いまちにしていきたいと思っています。

未来を担う若者たちへ

市長 つださんには、十河さんをテーマに、市内の高校生を対象とした講演会を開いていただきましたが、いかがでしたか。つだ 私はしゃべりの専門家ではないのですが、とにかく伝えたかったです。こんな素晴らしい人が同じ郷土にいるんだよって。

市長 これから都会に出て行ったり、漫画や文学の世界を志したりしている人もいると思うんです。つだ そうかもしれないですね。企業に入っても、一人一人が自分の人生のクリエイターですから。市長 組織にのまられることがあっても、思い切つてやったほうがいいかもわかりませんね。少々無謀でも。つだ そうですね。今はたぶん、やりたいことを封印される教育かなど。本当は好きなこともあるだろうけど。

市長 だから若い子には、本当に自分のやりたいことをやっていけるような環境を整えてあげられたらという気がします。つだ 近道しなくてもいいから、いくつになつてもいいから、自分の夢に挑戦する気持ちは覚えておいてもらいたいですね。

記念の年を迎えて

市長 今年は新幹線開業50年であり、西条市も合併10年という年です。つだ いろんな節目の年であるだけに、何か起爆剤がほしいですね。市長 現在、建設を進めている鉄道文化館南館には、十河さんのご縁で北海道から持つてこられたSL貴婦人「春雷号」を、市民公園から移設

しますので、多くの鉄道ファンに来ていただけたらと思います。つだ 一段と盛り上がりますね。私は（昨年秋）久しぶりにお祭りを見たいら、西条のDNAがよみがえってきました。市長 なるほど。つださんには、これからもいろんな形で力になっていただきたいと思います。つだ 私ができることは、どんなことでもさせていただけると光栄です。十河さんのことは、いろんな形でみんなに知ってほしいし、この本を日本中の人に読んでもらいたいですね。市長 本当にそうですね。本日は、ありがとうございました。

つだゆみさん著
夢の超特急
ひかり号が走った
十河信二伝

■概要
A4版 197ページ
1,300円＋消費税
■販売場所
全国書店、
市役所窓口 など

